©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所　湯川記念館史料室

ラジオ・プログラム

12日（火曜日）

NHK 第1

- 15 時計屋50年　平井春夫
- 40 歌　高木清、楠トシエ他
- 15 簡易せんたく所聞き歩き
- 35 メロディ4の花かご
- 45 観音寺住職赤松月船訪問
- 05 バイオリン小品集
- 30 天才鬼才列伝❷　式場隆三郎
- 10 朝の口笛　幸田弘子他
- 30 雨つづきのせんたく
- 45 独唱　安部けい
- 05 お話でてこい「一寸法師」
- 15 「青いノート」友部光子他
- 30 食べ合せ問答川島四郎他
- 05 けさの話題　松宮亮也
- 15 私の本棚「カルメン」❺
- 30 株式市場から
- 35 角を曲って三軒目
- 15 ひるのいこい
- 30 バラエティ「果樹園の冒険」能見正比古・作草笛光子、フランキー堺他
- 05 一自民党本部を訪ねて◇音楽の四季　村田武雄◇話「日本の家」❷池辺陽
- 05 浪花節「旗本御次男旅」玉川次郎浪曲家みさ子
- 30 原子力連鎖反応の発見❷
- 10 歌　松島詩子、野沢一馬
- 35 株式市場から
- 45 梅雨時の皮膚病高橋吉定
- 15 小説「人生劇場」❺
- 35 あかるく正しい遺筆を
- 45 謡曲「杜若」上田源一郎
- 15 生業扶助をうけて
- 30 ラジオ歌謡独奏立川霞人
- 45 きょうの問題「参議院選挙戦始まる」宮本基
- 30 中学生理科(化学)竹野博
- 15 子供シンブン◇ちえのポスト　司会　尾島アナ
- 25 新語国物語「七つの誓い」
- 40 スポーツだより
- 45 県民の時間◇天気予報
- 0 ニュース◇参院全国区立候補届出者氏名発表
- 30 話の泉　堀内敬三、渡辺紳一郎、大田黒元雄、山本嘉次郎、貝谷八百子他
- 0 素人即席演芸会　歌　佐々金治、劇　太幸久雄他
- 30 民謡をたずねて「弥栄音頭」他　唄　斎藤京子、渡辺美千代、鈴木男次郎
- 05 ニュース解説　平沢和重
- 15 相撲道中「美人島の巻」❷八木隆一郎作　樋口健一郎、藤本四郎、坂本和子他
- 40 始った参議院選挙
- 15 音楽の窓　歌沢田勝彦、宇都美晴、浜谷のり子、津村謙　池田光夫とオルケスタ・テイピカNHK
- 10 せちがらい花の都邦正美
- 20 「居酒屋りの季節」鼎浪定作

NHK 第2

- 0 基礎英語講座◇英語会話
- 30 文章の構造　小林英夫
- 0 フランス語初級前田陽一
- 30 教養大学「小説について」❷（詩と散歩）中村光夫
- 0 養友サロン　緑野アナ
- 30 フェリックス・ウインガルトナーの指揮
- 0 気象通報◇こよみ
- 30 会議❸　あめそうか
- 45 地理「豊かな東海地方」
- 0 社財なんか痛くないわ
- 30 このごろのできごと
- 45 世界名曲めぐり
- 0 くらし「船どまり」（再）
- 15 マイクさん小野田へ（再）
- 45 話題「インド女子学生の来日」他　鈴木晃他
- 15 朝の談話室　川上哲治
- 30 物語「快傑ダルタニアン」
- 15 朝の音楽　司会高杉妙子
- 30 歌　ペリー・コモ他
- 45 フォア・メロディアンズ
- 0 ああ、それなのに女房は
- 35 放送劇「花ふたたび」
- 45 楽団シックス・トーン
- 05 見知らぬ女性の巻
- 30 音楽の花園伊佐早欣一他
- 45 学校給食をめぐって
- 10 名作「痴人の愛」❸高島陽
- 23 随想「梅雨とあじさい」他
- 45 医学の歴史❶梅沢恵太郎
- 05 読書「谷の谷」綾夏川静江
- 15 私のヒット曲　若原一郎
- 30 マントヴァーニ楽団
- 45 歌　鶴田浩二、江利チエミ
- 15 歌　柳沢真一、小園まさ江、神楽坂浮子他
- 30 浪曲ドラマ「虎丸の巻」❷国友忠、久野四郎他
- 05 越路のエチケット・メモ
- 15 劇「空を流れる白い雲」
- 30 座談会「御婚大いに語る」
- 10 音楽の散歩道紅白歌合戦
- 45 ドラマ「蘭いてし」武内文平、来宮良子、勝田久他
- 10 歌　藤島桓夫、島倉千代子
- 30 やせない結核患者
- 45 ドラマ「あなたの胸に」
- 05 三枚のお守り❹トニー谷
- 15 東京チャキチャキ娘
- 30 刀根研二と五重奏団他
- 15 物語「ターザン」伊藤海彦
- 30 物語「ぎゃらむの測窟」
- 45 音楽の小箱「オルゴールと園児たち」前田敏子他
- 05 被風天狗少年版影の如く
- 15 映画音楽シリーズ❹
- 25 ファミリイ・クラブ　司会　小野田勇
- 55 スポーツ・タイム
- 10 録音ニュース
- 20 歌う三人娘歌雪村いづみ
- 30 お好み寄席　落語独演「寝床」桂文楽、徳川夢声（対談）
- 0 劇「ハチ公は見ている」
- 15 変貌する学生運動
- 30 放送劇「創える魂」
- 0 歌　島倉千代子、高田浩吉
- 25 投書家サロン　加藤一
- 40 劇「活火山」久米明他
- 0 江利チエミ歌の花籠
- 20 歌　宮城まり子他
- 35 ドラマ「通夜の客」❺　有馬稲子、岩田直二他
- 15 歌　鶴田浩二、江利チエミ
- 30 島倉千代子歌の花束
- 45 話題のニュース高田秀二
- 0 チエミよもやまばなし
- 15 落語独想「百回」金馬
- 30 歌「三浦洗一特集」
- 0 学生のダンスパーティ券
- 30 「手毬唄」❷水谷八重子
- 40 宇都宮の宮染ゆかた
- 0 歌　長谷美帆、小田切匡志
- 15 学生と結核　北鋒平
- 45 講義「朝顔日記」❸貞丈
- 0 箏曲「六段調」中能島欣一
- 20 新派名作集「滝の白糸」❼
- 35 歌　笠原さよ子他
- 0 歌「高田浩吉特集」
- 30 みんなの歌「人魚の歌」
- 40 建部かなる、信濃みち子
- 45 放送劇「若草物語」
- 0 劇「ぼろきれ王子」❺
- 15 飯沢匡作　菅原謙二他
- 10 歌の散歩みち　三枝屋子
- 35 スポーツニュース
- 40 劇「人情太平記」麻雀の他
- 0 録音ニュース
- 10 私のヒットアルバム「海の若人」他　歌　藤島桓夫
- 30 名人浪曲集「飯屋水蔵伝」天中軒雲月
- 0 家庭音楽会　司会後藤アナ（審査員）三味線豊吉、高山正彦他
- 30 連続講談「徳川家康」宝井馬琴
- 0 劇「午後8時13分」根上淳、八千草薫、山形勲、大森義夫、佐野浅夫他
- 30 歌謡漫芸「鳥辺山」柳家三亀松
- 0 大学受験春季基礎講座「和文英訳」海江田進
- 30 「解析」（Ⅱ）田島一郎
- 0 世界の民謡「中南米編」
- 20 夜話「珍魚怪獣」岡田要他
- 0 ポッポちゃん物語「清しこの夜」劇団こまどり
- 15 劇「少年探偵団」
- 30 歌　霧島昇、松平晃、藤山一郎、二葉あき子他
- 0 ラジオ夕刊（耳の新聞）
- 20 歌のパレード歌灰田勝彦
- 30 ミラクル・メロディ「ジョージ・ガーシュイン集」渡辺弘とスターダスターズ
- 0 今週の花嫁花嫁　ゲスト八千草薫、夏目俊二、司会　三木鮎郎
- 30 水戸黄門漫遊記　内海突破、神楽坂浮子他
- 0 夫婦善哉　司会ミヤコ蝶々、南都雄二
- 30 火曜劇場「母のうしろ姿」（終）信欣三、山形勲、沢村貞子、久松保夫他
- 0 劇「俺は藤吉郎」花柳喜章
- 15 歌　若原一郎、奈良光枝
- 35 わたしの選曲　ゲスト佐田啓二、聞き手阿里道子
- 0 スポーツ・カレンダー
- 15 三味線の手ほどき

ラジオ東京 850KC

- 0・05 歌ペリー・コモ他
- 0・30 レス・バクスター楽団、デイヴ・ペイ・オクテット他
- 0・00 英文法
- 0・30 プロコフィエフ作交響曲第5番変ロ長調作品100
- 0・00 資料にみる浪人の活躍
- ❷ 0・10 G・シアリング五重奏団
- 0・35 歌三橋美智也他

文化 1160KC

- 0・00 コロンヌ管弦楽団
- 0・00 資料にみる浪人の活躍
- ❷ 0・10 G・シアリング五重奏団
- 0・35 歌三橋美智也他

ニッポン 1310KC

- 10 「二人の老婆」吉井勇
- 35 リレークイズ　高橋和枝
- 0 劇「アパートちゃん」
- 30 ラジオ朝刊
- 45 別れの一本杉他
- 0 ホームソング　岡本敏郎
- 15 ママと私の学校佐伯徹他
- 45 劇「春子丸」平北村英三
- 0 劇「風の中の女」大村令子
- 45 座談会「日本の女」J・A・サージェント他
- 0 劇「おじいさん」宮口精二
- 15 歌　岡晴夫、藤島桓夫
- 35 歌大木実、永田とよ子、伊藤久男、三浦洗一
- 0 劇「私の生れ故郷は」都上英二、喜美江◇落語「金魚の芸者」古今亭志ん生
- 40 歌　吉田、吉岡、林他
- 0 劇「君を愛す」藤野節子
- 15 歌　ケイ・スター
- 35 はりきりチヨ子さん
- 0 劇「御用聞き物語」
- 30 ラジオ試写会「白夫人の妖恋」豊田四郎、旗一兵
- 0 全国お国自慢ノド自慢コンクール「大牟田の巻」
- 30 歌　小畑実、神楽坂浮子
- 0 劇「哀愁の園」高橋昌也
- 15 バッキー白片と楽団
- 35 歌　白根一男、岡本敦郎
- 0 劇「ふり袖太平記」
- 25 御神火月夜　菅原ツヂ子
- 30 仰よしこよし　ゲスト古賀さと子、若羽黒
- 0 ポッポちゃん物語「清しこの夜」劇団こまどり
- 15 劇「少年探偵団」
- 30 歌　霧島昇、松平晃、藤山一郎、二葉あき子他
- 0 ラジオ夕刊（耳の新聞）
- 20 歌のパレード歌灰田勝彦
- 30 ミラクル・メロディ「ジョージ・ガーシュイン集」渡辺弘とスターダスターズ
- 0 今週の花嫁花嫁　ゲスト八千草薫、夏目俊二、司会　三木鮎郎
- 30 水戸黄門漫遊記　内海突破、神楽坂浮子他
- 0 夫婦善哉　司会ミヤコ蝶々、南都雄二
- 30 火曜劇場「母のうしろ姿」（終）信欣三、山形勲、沢村貞子、久松保夫他
- 0 劇「俺は藤吉郎」花柳喜章
- 15 歌　若原一郎、奈良光枝
- 35 わたしの選曲　ゲスト佐田啓二、聞き手阿里道子
- 0 スポーツ・カレンダー
- 15 三味線の手ほどき

6 7 8 9 10 11 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

- 15 時事問題　宮崎清隆
- 30 「ラジオ人物史」
- 45 ラジオ・ニュース
- 0 ニュース
- 15 ラジオ・ニュース
- 30 ラジオ・ニュース
- 45 ラジオ・ニュース
- 0 ニュース
- 15 ラジオ・ニュース
- 30 ラジオ・ニュース
- 45 ラジオ・ニュース
- 0 ニュース
- 15 ラジオ・ニュース
- 30 ラジオ・ニュース
- 45 ラジオ・ニュース
- 0 ニュース
- 15 ラジオ・ニュース
- 30 ラジオ・ニュース
- 45 ラジオ・ニュース
- 0 ニュース
- 15 ラジオ・ニュース
- 30 ラジオ・ニュース
- 45 ラジオ・ニュース
- 0 ニュース
- 15 ラジオ・ニュース
- 30 ラジオ・ニュース
- 45 ラジオ・ニュース
- 0 ニュース
- 15 ラジオ・ニュース
- 30 ラジオ・ニュース
- 45 ラジオ・ニュース

朝日（1010KC）夜

- 8・00 歌のカクテルパーティ
- 8・30 浪曲「鉄腕の海」（後）天光軒満月鑑
- 9・00 歌　曽根、野村、三浦
- 9・30 素人寄席
- 10・00 落語「子宝」枝太郎他
- 11・00 劇「機の音」金田竜之介

中日（1070KC）夜

- 7・30 落語「家計簿」桃太郎他
- 8・00 パイパイゲーム
- 8・30 漫才オペレッタ
- 9・00 歌　菊池、針谷、近江
- 9・30 浪曲物語「一蓮ぶね」三葉百合子
- 10・15 歌　霧島、笹置、綾井

新日本（1210KC）夜

- 7・30 家庭談話会
- 8・00 わが街に詩あり

日本短波（3925 6055 9595KC）

- 7・00 録音構成「青年と娯楽」
- 10・30 紡績株の4月決算
- 11・45 既製服のデザイナー
- 0・00 美容とビタミン❸
- 0・15 生産性向上を現地に
- 4・35 超音波の話　田中哲郎
- 4・50 敬語の使い方❶
- 5・45 参議院選挙に際し国民にのぞむ　植山一郎
- 6・45 梅雨と保育児童の健康
- 7・00 プロ野球　中日対国鉄
- 9・30 ロシア民謡の歴史❶
- 9・45 葉の特許　鳴谷亮一
- 10・00 降圧剤の使い方

FEN（810KC）

- 9・30 家庭テネシー・アーニー
- 0・45 ポップ・クロスビイ

【NHKテレビ】

- 11・30 人形劇「一休さん」
- 0・15 伝藝全盛と楽団他
- 0・35 婦人弁護士の見た世相
- 1・00 討論会「参院選をいかに戦うか」各党代表
- 6・00 ちゃんちゃん物語⑪
- 7・15 ジェスチュア金語楼他
- 7・45 劇「ピル」高柳真他
- 8・15 映画「あやに優しき」
- 8・45 ハーブ　モルナール他
- 9・10 青い目で見た東京

【日本テレビ】

- 0・15 米第一騎兵師団バンド
- 0・45 私は知ってる◇料理
- 1・10 はかりの歴史◇生花他
- 6・30 第二次世界大戦
- 7・30 劇「次郎物語」❻
- 8・00 落語　柳楽◇ロマンショー◇落語　金馬
- 9・00 電話博士❻
- 9・35 テレビどくみ　夢声
- 9・45 「栗さまはパラのトダ」
- 10・10 劇映画「火の鳥」

【KRテレビ】

- 0・10 「青春歌合戦の巻」
- 0・40 サラン製品について
- 6・00 映画「先生の湯呑」
- 6・45 影絵「三銃士」❶
- 7・00 お仕事はなんでしょう
- 7・30 コメディ　千葉信男他
- 8・00 落劇「勧悪袋の巻」
- 8・30 トリオ・ゲーム
- 9・15 パイ商の奮闘　中島健蔵、杉浦三郎他
- 9・50 歌　青木光一

空中劇場

東京チャキチャキ娘

立会討論会

NHKテレビ後1・

聴きもの見もの

学芸

人間はできることは何でもやりたい

科学が進歩するにしたがって、人間にできることがふえてくる。できることは何でもやってみたいのが人間の本来的傾向である。ロケットの航続距離がのびてくると、月や火星まで飛んでゆく計画がはじまる。機械が発達してくると、手足のはたらきを機械に代てやらせるだけでは満足しない。頭のはたらきまで機械にさせようとする。実際、今日の電子計算器は人間とはくらべものにならない速さで、こみいった計算をやってくれる。

機械は人間がつくるものであるが、それが人間の希望どおりに動いてくれることを保証するのは自然法則である。科学の進歩によって、より根本的な自然法則が知られると、新しい原理にもとづいた、よりすぐれた機械がつくられる。電子が発見され、そのふるまいを規定する法則がわかって、初めて電子計算器の製作が可能になったのである。

機械を動かすためには、エネルギーが必要である。科学の進歩にともなって、新しい種類のエネルギーがつぎつぎと見出され、人間の利用しうるエネルギーはますます多種多様になってゆく。既知のエネルギー源が消耗しそうになると、科学は新しいそしてよりゆたかな源を見つけ出してくれるのである。原子力はその最も新しい例である。原子力が動力源として大きな将来を持っているばかりでなく、これと並行もしくは先行する放射性アイソトープの利用が人間生活に――考える場合、間接にではあるが――想像もつかない変化をもたらすであろう。

科学の進歩が人類自滅の可能性生む

しかし科学がここまで進歩したというそのこと自体が、もっと遠った新しい問題をひき起した。それは正に科学の最も進歩した一つの頂点において、そして最も高度な形での科学の利用の仕方と関係してあらわれてきたのである。

一つは電子計算器あるいは人工頭脳とよばれているものの今後の発達・普及と関係している。人間の頭脳の代りをまでする機械、場合によっては人間以上のはたらきをする機械を、人間がどこまでも進歩させていったらどうなるか、という結果になるのか。人間世界の中で人間の役割を喪失してゆくまでいうする人々の割合がだんだんふえてゆくかも知れない。少数の創造的才能にめぐまれた人々は別として、その他の大多数の人々は、どこに生きがいを見出すことになるであろうか。今日のわれわれには、その結果について的確な見通しをつけることは困難である。

そればしかしだいぶ先の話である。その前にもっと大変な問題がひかえている。それはいうまでもなく、原子力の利用の暗黒面としての人類自滅の可能性である。自身が道徳律とはなりえない。ここに問題の一つの焦点がある。

このように考えてくると、われわれは絶望的になりそうである。しかしわれわれはまだ絶望する必要はない。今日多くの人々に認められ、信ぜられるに値するほどの宗教や主義なら、どれ一つとして人間相互の大量さつりく（殺戮）や、まして人類の自滅行為を肯定するようなものはなかったであろう。今日の世界において、少数の強国が原子兵器の殺力の増大に必死の努力を続けることに対する唯一の自己弁護は、自国がつくるのをやめたら時に、もしも他の国がやめなかったら、自分の方が致命的に不利な立場におちいるという理由である。できることをさせないようにする場合の難かしさは、大抵の人はそれをしないだけの分別や良心をもっていても、おおせいの中のだれかがやるかも知れないという恐れからである。それゆえに、法律が必要になり、裁判が必要になり、警察が必要になる。さらに原子兵器の場合には、もっていることが絶対的な力になるがゆえに、問題の解決が異常に困難となる。

世界の良心に辛抱強く訴える努力を

この困難はどうすれば乗りこえられるか。まず第一は原子兵器のおそろしさを世界中の人々に、より大きく認識させ、世界中の人々の良心に訴える努力を今後も辛抱強く続けることである。その場合、科学の側からの客観的な事実の供給による裏づけが重要であることはもちろんである。実際、日本から始まった他の国々にも拡まった原子兵器禁止の運動は、すでに世界の世論に相当な影響を及ぼしているのである。第二には、戦争の起る余地をできるだけ少なくする。国際関係の比較的静穏な間は原子兵器の禁止の約束が守られても、いったん戦争が起って、それが長期戦にまで発展すれば、原子兵器が使用されるであろうのは、ほとんど不可避のように思われる。ジュネーヴ会談を二つの契機として、二つの世界の平和的共存の公算が大きくなりつつあるように見えるのは、もちろんよろこばしいことである。そういう情勢の中で、原子兵器だけでなく、戦争そのもの、そしてさらに進んであらゆる暴力を否定する思想が世界中にもっともっと拡がってゆくことを念願してやまない。昨年夏のラッセル声明やリンダウ声明も、この点を強調しているのである。

原子力を人の幸福に奉仕させるには

しかし人類が自滅の危険からの安全保障を確保するためには、そういう甘い期待だけで十分とはいえない。一つの国家の中の個人や団体間の争いを解決し、暴力を抑圧するために、法律や裁判や警察が必要であったように、国家間の紛争の公正な解決をなしうる権限と実力をもった国際機関が樹立されて、はじめて各国民は力への信頼から、理性と良識への信頼へと、より望ましい状態に進むことになるであろう。世界連邦というようなものを成立させ、育成してゆくことが、今後長期にわたって人類に課せられた、もっとも大きな事業の一つであることは、もはや疑う余地がなくなってきた。原子力の平和的利用ということも、もちろん非常な大事業であるが、原子力がどこまでも人類の幸福のために奉仕できる前提として、世界平和の永続のための確かな保証が得られることが、何よりも大切であろう。

（京大教授・蓬莱物理学研究所長・原子力委員・理博）

湯川博士は十四日午後八時十五分羽田発「オランダ航空」機でジュネーヴに向い、同地で「高エネルギー加速機と中間子に関するシンポジウム」に出席、さらに西独、北欧などを回って九月十七日シアトルで開かれる国際物理学会議に参加、九月末ごろ帰国の予定。

湯川秀樹氏

原子力と人類の将来

湯川秀樹

ラッセル声明

イギリスの哲学者、バートランド・ラッセル氏は昨年七月九日、米ソ英、仏、中共、カナダの六カ国の元首または首相に対して、核兵器戦争による人類絶滅の危険を警告し、戦争回避を強調する手紙を送った。これは、湯川博士もふくむ世界の著名な科学者七名の賛成連署を得た決議にもとづいたもので、ブリッジマン教授（ハーヴァード大学）アインシュタイン博士、インフェルド教授（ワルシャワ大学）ミューラー教授（インディアナ大学）パウエル教授（ブリストル大学）ロトブラット教授（ロンドン大学）が加っている。

ラッセル氏

「将来世界の戦争において核兵器の使用は必至であり、それは人類の存続への脅威である。われわれは、世界の政府が戦争によりその目的を達することの不可能であることを公けに確認し、すべての紛争の解決に平和的手段を発見することを切に勧告する」とのべている。

リンダウ声明

昨年七月十五日、西独リンダウ市で開かれたノーベル賞受賞者五百人余講演会で湯川博士ら十八名の受賞者が「核兵器の使用は世界を放射能に汚染し、全人類をまっこうから脅かそう」と、原子兵器に反対する共同声明を発表した。

劇評

共感よぶが深み不足

新制作座『ああ薔薇の花は何処に咲く』

◇新制作座が久しぶりに東京公演を持ち、真山美保作、演出「ああ薔薇の花は何処に咲く」三幕の上演。若い労働者の恋愛を涙と笑いで描いた作品。

◇別々の職場に働く五郎（草村公宣）と百合子（真山美保）は愛しあって七年、ようやくささな家を建て結婚しようとしたとき、孤児になった百合子の遺産の子供四人が転りこんでくる。困った百合子は社会的に地位のある四人の親類に引取ってもらうため、一人一人に地図を持たせ追い出してしまう。待望の新婚生活が実現したしかし二人は子供たちが気になって仕方がない。冷い親類にたらいまわされ子供たちが再び帰った旅出と、木下順二の戯曲が巧妙に

新制作座の舞台　左は真山美保の百合子、右は草村公宣の五郎

成果あ

◇ぶどうの会は総強会にシ「谷の陰」「海へ駆けゆく人の二本と、ブライディ作「魚の物語」を上演。勉強会形

c111-026-022